

高等部卒業式式辞

この冬も、ようやく終わりに近づき、やわらかな陽ざしに春の訪れを感じるこの良き日に、兵庫県立神戸特別支援学校高等部第39回卒業証書授与式を挙げていくことを心から感謝申し上げます。

ただいま卒業証書を授与いたしました第39回生22名の卒業生の皆さんは、入学以来努力を重ね、所定の学業を終えて本校を巣立つことになりました。心から祝福いたします。

そして、今日の日を迎えるにあたり、お子様方を陰に日向にと支えていただきました保護者の皆様には、お喜びも一入のこととご拝察申し上げます。お子様のご卒業誠におめでとうございます。

さて、卒業生の皆さん、本日の卒業式を迎えられた今の気持ちはいかばかりでしょうか。皆さんは、本校の教育活動の中でどのようなことが心に残っているのでしょうか。

12月に実施された淡路島・徳島への修学旅行ではないでしょうか。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防によって、実施が危ぶまれましたが、学年の先生方のお陰をもって実施場所・日程の大幅な変更はありましたが、皆さんの学校へ帰った時の表情を見て、充実した修学旅行だったことを実感しました。これから先、皆さんの心に深く刻み込まれることでしょう。

これから皆さんが巣立っていく未来は、決して安穩としたものではありません。世界各地ではさまざまな問題が発生し、解決しなければならない多くの問題が山積しています。

そこで、皆さんに伝えたいことがあります。それは人生で大事なことは夢中になれることを見だし、それに対して、どれだけ真剣に打ち込めるかということです。どんな地味な生き方であっても、人は皆、仕事や生き方に、誠実に真摯に立ち向かった時、本物を手にすることができ、心からわいてくる喜びや充実感を感じ、必ず美しい輝きが放たれるものです。そして他を圧倒するほどの強い力をも持つことができます。

今日こうして、立派に卒業の日を迎えられたのは、自分自身の努力の賜物です。この卒業は、自らの手で成し遂げた、人生の中での一つの栄誉です。このことには、自信と誇りを持って下さい。しかし一方で、共に学び支えあった友がいて、そして皆さんを守り育ててくれた保護者の皆様をはじめ、教え導いて下さった先生方、さらにはお世話になった地域の方など、多くの方々の支えがありました。ここで皆さんにお願いがあります。このハ

レの日にあたり、これまでの長い間、皆さんのことをいつも支えてくださったご家族や周囲の方々に「ありがとう」と伝えて下さい。感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生を力強く歩んでほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様に、教職員を代表して厚くお礼を申し上げます。本校の教育活動に対しまして格別のご理解、ご協力を賜りました。そして共にお子様を導き、こんなにすばらしい若者を育てたことを、誠にありがたく感謝しております。

それでは、希望に満ちた旅立ちの日にあたり、この学舎を巣立ちゆく皆さんの前途に幸多からんことを心から祈念しまして、卒業式の式辞といたします。

令和三年三月十一日

兵庫県立神戸特別支援学校
校長 陶山 浩